

嗅覚、味覚の異常、錯覚、幻覚

質問：

1 他の人が気づかないような臭いや味を感じることはありますか？

いいえ わからない はい (限定項目を記録)

限定項目：「はい」と答えたとすべての質問に対して、以下を記録すること

- ・それが生じ始めた時期。継続期間。生じる頻度。
- ・症状の程度： この経験はあなたにとってどのようなものですか？（それを煩わしいと思いますか？）
- ・生活に対する干渉の程度： この経験に基づいて行動することがありますか？そのせいで全く違う行動をとってしまったことがありますか？
- ・確信や意味づけの程度： この経験をあなたはどのように説明しますか？それが単に頭の中だけで起きていると感じることはありますか？これが現実だと考えることはありますか？

P. 4 解説： 知覚の異常、錯覚、幻覚

- a. 普通でない知覚体験。知覚の過敏あるいは鈍麻。鮮明な知覚体験、感覚の歪み、錯覚。
- b. 病識を伴う（すなわちその異常性が自覚できる）偽幻覚あるいは幻覚体験。
- c. 思考や行動にわずかに影響を及ぼす明らかな幻覚の出現。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

知覚の異常、錯覚、幻覚

重症度スケール（以下のうち一つに丸を）

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度であるが 精神病的ではない	6 重度かつ精神病的
	わずかではあるが、自覚できる程度の知覚過敏（感受性の亢進、鈍麻、感覚の歪みなど）。	あいまいな知覚体験や変化。それは自覚されるもの何らかの意味があるとは思われない。	不鮮明なイメージ（人影、残像、物音など）、錯覚、持続的な知覚のゆがみなどが繰り返し出現する。それらは非日常的な体験として、しばしば困惑をもたらす。	一時的に出現する鮮明な幻覚や錯覚。それは最終的には現実ではないと理解されるものではあるが、その奇怪な体験はしばしば集中を妨げ、混乱を招く。機能低下も認められるようになる。	幻覚は自身の外部で実在するように体験される。一方で周囲の意見によってその実在性を疑うこともまだ可能ではある。幻覚はもはや抗しがたい体験であり、少なからずストレスがもたらされる。機能低下が日常的に見られる。	幻覚は現実として感じられ、自分の考えとは区別される。それを現実かどうか疑うこともできなくなる。注意が奪われ、恐怖感をもたらされる。思考や感情、人間関係、行動などに持続的な影響を及ぼしている。

評価の根拠：

3点以上と評価された症状について			
症状の出現時期	症状の悪化時期	症状の出現頻度	別の疾患の可能性
陽性症状が少なくとも3点のレベルに最初に達した日時を記録する： <input type="checkbox"/> 「物心ついて以来」 <input type="checkbox"/> ____年 ____月 ____日	現在3点から6点にある陽性症状が少なくとも1点以上悪化した、もっとも最近の日時を記録する： ____年 ____月 ____日	以下あてはまるものをチェックする： <input type="checkbox"/> 1日1時間以上を週に4回以上 <input type="checkbox"/> 1日数分以上を月に1回以上 <input type="checkbox"/> 週に1回以上 <input type="checkbox"/> どれでもない	症状は他のI軸あるいはII軸疾患で説明できる可能性がある： <input type="checkbox"/> 可能性が高い <input type="checkbox"/> 可能性が低い

P. 5 まとまりのないコミュニケーション

以下の質問は会話時にみられる明らかな思考障害や、他の思考に関する問題などを同定する目的で行われる。質問によって得られた症状や体験は、質問の末尾にある SOPS P5 スケールで評価される。

注： 評価の基準には、面接時の発話における問題だけでなく、言語的コミュニケーションや論理の一貫性も含む。

コミュニケーションの障害

質問：

- 1 言っていることが理解できないと他人からいわれたことはありますか？
あるいは言っていることを理解してもらえていないと感じたことはありますか？
いいえ わからない はい（限定項目を記録）
- 2 話すときに言いたいことが分からなくなったり、話題がそれてしまったりするなど、伝えたいことがうまく表現できないと感じることがありますか？
いいえ わからない はい（限定項目を記録）
- 3 突然頭の中が真っ白になって、思考が急に途切れたり、話が続かなくなったりすることはありますか？
いいえ わからない はい（限定項目を記録）

限定項目：「はい」と答えたすべての質問に対して、以下を記録すること

- ・それが生じ始めた時期。継続期間。生じる頻度。
- ・症状の程度： この経験はあなたにとってどのようなものですか？（それを煩わしいと思いますか？）
- ・生活に対する干渉の程度： この経験に基づいて行動することがありますか？そのせいで全く違う行動をとってしまったことがありますか？
- ・確信や意味づけの程度： この経験をあなたはどのように説明しますか？それが単に頭の中だけで起きていると感じることはありますか？これが現実だと考えることはありますか？

P. 5 解説：まとまりのないコミュニケーション

- a. 奇妙な話し方。曖昧で不明確であり、細部にこだわりすぎ、型にはまった感じを与える。
- b. 話の内容が混乱し、ぼんやりとしており、その話しぶりも空回りを始めたかと思えば、逆に遅くなったりする。時に言い間違えたり、文脈にそぐわないことを話したり、話題がそれたりする。
- c. 話は不必要にまわりくどく、脱線しがちで、論理性を欠いている。言いたいことをまとめるのにしばしば困難が見受けられる
- d. 連合弛緩や思考制止が認められ、話の内容を理解するのも困難で、およそ知的とは言い難い。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

まとまりのないコミュニケーション **重症度スケール（以下のうち一つに丸を）**

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度であるが 精神病的ではない	6 重度かつ精神病的
	意味をなさない言葉やフレーズがしばしば出現する。	話しぶりが曖昧で漠然としており、ときに細部にこだわりすぎ、型にはまった感じを与える。	しばしば言い間違えたり、関係のない話を始めたりする。話題がそれても、自分で元に戻すことは可能である。	話はまわりくどいものの、結果的に結論にたどりつくことはできる。言いたいことをまとめるのにしばしば困難が見受けられ、突然会話が中断したりする。適切な質問や修正などによって、話題を戻すことは可能である。	話はすぐに脱線してしまい、結果的に結論にたどりつくことができない。連合弛緩や思考制止をしばしば認める。注意を引き戻すには頻繁に修正を促す必要がある。	ごくわずかでもストレスを感じたり、会話の内容が込み入ってきたりすると、話はまとまわりを失った的外れなものとなり、中断が増え、理解が困難となる。面接中も促しによって修正することができない。

評価の根拠：

3点以上と評価された症状について			
症状の出現時期	症状の悪化時期	症状の出現頻度	別の疾患の可能性
陽性症状が少なくとも3点のレベルに最初に達した日時を記録する： <input type="checkbox"/> 「物心ついて以来」 <input type="checkbox"/> ____年__月__日	現在3点から6点にある陽性症状が少なくとも1点以上悪化した、もっとも最近の日時を記録する： ____年__月__日	以下あてはまるものをチェックする： <input type="checkbox"/> 1日1時間以上を週に4回以上 <input type="checkbox"/> 1日数分以上を月に1回以上 <input type="checkbox"/> 週に1回以上 <input type="checkbox"/> どれでもない	症状は他のI軸あるいはII軸疾患で説明できる可能性がある： <input type="checkbox"/> 可能性が高い <input type="checkbox"/> 可能性が低い

陰性症状

N.1 社会的な関心の喪失

質問：

- 1 普段一人でいるのと誰かと一緒にいるのではどちらを好みますか？（もし一人でいる方を好むのであれば、その理由を明記）社会的な無関心が見られるか、他の人と一緒にいると落ち着かないか、不安はあるか、などを問う。
反応を記録
- 2 普段暇な時間は何をしていますか？もし機会があればもっと社交的になりますか？
反応を記録
- 3 学校や仕事以外で友人と一緒に過ごすことはどのくらいありますか？最も親しい友人3人を挙げてください。彼らとは何をしていますか？
反応を記録
- 4 誰かと会うときに、会話を切り出すのはあなたと相手ではどちらが多いですか？
反応を記録
- 5 家族と一緒に過ごすことはどのくらいありますか？彼らとは何をしていますか。
反応を記録

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

N.1 解説：社会的な関心の喪失

- a. 一親等家族以外に親友あるいは信頼できる人がいない。
- b. 一人で過ごすことを好むが、必要に応じて社会的な場に参加することはある。自ら話しかけることはない。
- c. ほとんどの社会的活動に対して消極的で、関心は乏しく、形式的である。目立たぬ所へ逃れようとする傾向がある。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

社会的な関心の喪失

陰性症状スケール

0	1	2	3	4	5	6
なし	存在が疑われる	軽度	中等度	やや重度	重度であるが精神病性ではない	重度かつ精神病性
	社交面の不器用さがわずかに存在するが社会的活動は可能である。	他人と一緒にいると落ち着かない。社交面にはあまり関心はないが、社会参加は可能である。	社交に関心がないため、人との付き合いは不本意な形でしかない。社会的活動には消極的である。	血縁者以外に親しい友人はほとんどいない。社会に対して無関心である。社会参加は最低限でしかない	人付き合いもほとんどなく、親友もいない。一人でいることを好み、ほとんどの時間を一人でいるか家族と過ごす。	友人はおらず、ほとんどの時間を一人で過ごす。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）

最近の症状がはじめて生じた日時を記録する：

生涯にわたって、あるいは物心ついて以来

明らかでない

出現の日時 _____（年） _____（月）

N. 2 意欲減退

質問：

- 1 何かをするときにやる気が起きず困ることはありますか？ いいえ わからない はい（反応を記録）
- 2 普通の日常的な行為をするのに苦勞することはありますか？ それは時にですか、それとも常にですか？
行動には促しや刺激が必要ですか？ それは時にですか、それとも常にですか？
いいえ わからない はい（反応を記録）
- 3 周りがやむを得ず自分をせきたてていると気づいたことはありますか？ 普段行っていることをしなくなってしまった経験はありますか？ いいえ わからない はい（反応を記録）

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

N. 2 解説：意欲減退

- a. 目的のある活動であっても、行動を開始、継続したり、コントロールしたりすることが困難になっている。
- b. 動機づけや活力の欠乏、生産性の低下。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

意欲減退

陰性症状スケール

0 なし	1 存在が疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度	6 ごく重度
	目的のある活動に集中することはできないもの、平均的なレベルには劣っている。	動機づけの低下や活力の欠乏。単純な作業にも労力が必要となり、一般の場合より時間がかかる。生産性のレベルは平均的か、正常下限にある。	目的のある活動にもモチベーションが持てず、行動の開始や維持に困難が認められる。課題にとりかかるにもやり終えるにも周囲の促しが必要となる。	目的のある活動に対するモチベーションは最低限でしかなく、周囲からの促しは常に必要となる。	モチベーションや活力は欠如しており、生産性は明らかに低い。ほとんどの目的のある活動を放棄している。周囲からの促しは常に必要だが、しばしば有効でない。	周囲からの促しにも反応しない。ほとんどすべての目的のある活動を放棄する。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）
最近の症状がはじめて生じた日時を記録する：
<input type="checkbox"/> 生涯にわたって、あるいは物心ついて以来
<input type="checkbox"/> 明らかでない
<input type="checkbox"/> 出現の日時 _____（年） _____（月）

N. 3 感情表出

質問：

- 1 以前より感情表現が少なくなった、他人との関わりが薄くなったなどと誰かから指摘されたことがありますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

注) 評価基準には主観的な感情表出の低下に加え、客観的に認められる感情の平板化も含む。

N. 3 解説：感情表出

- 感情の起伏や抑揚の減少（単調な発話）、話すときの身振りが少なくなる（鈍重な外見）などに特徴付けられる、平板化し限定的な、抑制された感情表出。
- 自発性の欠如や会話の途絶。コミュニケーションの正常なやりとりが失われ、会話でもほとんど自発的に話すことがない。面接時の返答も単発的でそっけなく、面接者による追加や修正が必要となる。
- ラポールの乏しさ。他者への共感や率直な自己開示などが欠けており、面接者に対する親近感や関心、興味も認められない。これは面接時に示される距離感や、言語的／非言語的な疎通の低下によって確かめられる。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

感情表出

陰性症状スケール

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度	6 ごく重度
	情動の反応はやや遅れて出現するか、反応自体が鈍い。	会話には抑揚がなく、ぎこちなさが感じられる。	感情表出はしばしば最小限にとどまるものの、会話の流れ自体は維持されている。	会話の流れを維持するのはやや困難である。会話のほとんどが単調なやり取りに終始する。相互の感情移入も最小限で、視線を合わせるのを避ける傾向がある。	会話を始めたり続けたりするのに面接者の質問や促しを必要とする。感情は抑制され、身振りはほとんど見られない。	感情は平板化しており、発話は単調である。面接者に共感を向けることは出来ず、積極的に質問されなければ会話は成り立たない。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）

最近の症状がはじめて生じた日時を記録する：

生涯にわたって、あるいは物心ついて以来

明らかでない

出現の日時 _____ (年) _____ (月)

N. 4 情動や自己の認識

質問：

- 1 以前に比べ、自分の感情が全体的に弱くなったと感じますか。感情がなくなったと感じたことがありますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）
- 2 感情の変化や違いを区別するのが難しくなったと感じることはありますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）
- 3 感情の起伏がなくなったと感じることはありますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）
- 4 自意識が失われていくような感じや、自分が自分ではないような感じ、人生とのつながりが失われる感じをこれまでに持ったことがありますか。それは自分の人生を外から見ているような感じですか。
いいえ わからない はい（反応を記録）

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

N. 4 解説：情動や自己の認識

- a. 情動体験や感情の変化を認めにくく、表面的で適切さに欠ける。
- b. 他人と会話する際に距離感が生じ、感情の交流が見られない。
- c. 感情は抑制され、幸福や悲しみを感じることは困難である。
- d. 感情がなくなったという感覚： 快楽消失、無関心、興味の喪失、倦怠感
- e. 根こそぎ入れ替わるような感覚、現実感の喪失、あるいは奇妙な感覚。
- f. 自分が自分でないような、離人感覚。
- g. 自己意識の喪失。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

情動や自己の認識

陰性症状スケール

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度	6 ごく重度
	他人に対して距離感を感じる。日常的に感情は抑制されている。	情動変化が乏しくなり、感情もはっきりと自覚されなくなる。	情動は平板化しており、その変化も容易に区別しにくくなっていると感じる。	無感覚や感覚の平板化が目立ち、ときに不明瞭な不快感が出現する。幸福や悲しみといった明瞭な情動の起伏さえも自覚するのは困難である。	自意識が失われるように感じる。離人感、非現実感、奇妙な感覚が出現する。肉体や世界、時間の流れから解離したような感覚。ほとんどの時間を無感情で過ごす。	自分が根こそぎ入れ替わって、以前の自分とかけ離れたように感じる。感情は自覚されない。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）
最近の症状がはじめて生じた日時を記録する： <input type="checkbox"/> 生涯にわたって、あるいは物心ついて以来 <input type="checkbox"/> 明らかでない <input type="checkbox"/> 出現の日時 _____（年） _____（月）

N. 5 思考の貧困化

質問：

1. 他人が何を言おうとしているのか、意味が分からないために理解するのが難しいということが時々ありますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）
2. 他人が使っている言葉で、理解できない言葉が最近増えていますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

抽象能力に関する質問：

- 1 類似性：以下の2つはどの点が似ていますか。
 - a. ボールとオレンジ _____
 - b. りんごとバナナ _____
 - c. 絵と詩 _____
 - d. 空気と水 _____
- 2 慣用語：「次の言い回しにはどういう意味がありますか」
 - a. 本は表紙で判断できない _____
 - b. とらぬ狸の皮算用 _____

N. 5 解説：思考の貧困化

- a. 聞き慣れているフレーズの意味を正確に理解したり、会話の要点を把握したり、日常会話についていったりすることができない。
- b. 話す内容が型にはまっており、流れがスムーズでなく、自発性や思考の柔軟性が失われている。単純な内容の思考が繰り返し出現する。態度や信念にはいくらか硬さが見られる。違う視点から考えたり、1つの考えから別の考えに移ったりすることが困難である。
- c. 言葉や文章の構造が単純である。独立節や修飾語（形容詞や副詞）に欠ける。
- d. 抽象的な思考に困難が見られる。考える際に抽象化された象徴的な手法を用いることができず、しばしば具体的な言い回しを利用する。物事を分類したり一般化したりするのが困難で、問題解決の際にも具体的で自分に関係のある範囲でしか考えを進めることができない。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度	6 ごく重度
	いくらか会話にぎこちなさが見られる。	会話のニュアンスを捉えることがうまく出来ない。会話のやりとりがスムーズでない。	類似性や慣用語の意味はほぼ正しく理解することが出来るが、修飾語（形容詞や副詞）はほとんど用いない。抽象的な言い回しを避けることが多い。	合理的でシンプルな会話でも、しばしば要点を把握できない。同じ言い回しをしばしば繰り返す。修飾語をほとんど使わず、単純な言葉や文章を好んで用いる。類似性や慣用語の意味についてもしばしば正しく理解できていない。	単純な言い回しや質問の意図を理解したり、それに答えたりすることは出来るが、自ら考えや体験をはっきり口に出して表現することは難しい。話の内容は限定され、型にはまっており、ごく単純で短い文章の形でしか表現されない。類似性や慣用語の意味についてはほとんど理解することができない。	会話の内容がたとえ単純なものでも、話についていけないことがしばしばある。会話の内容や表現の形はほとんど短い単語か、はいかいいえの応答に限られている。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）
最近の症状がはじめて生じた日時を記録する： <input type="checkbox"/> 生涯にわたって、あるいは物心ついて以来 <input type="checkbox"/> 明らかでない <input type="checkbox"/> 出現の日時 _____（年） _____（月）

N. 6 社会機能

質問：

- 1 仕事に以前より多くの労力を費やしてしまうことがありますか。 いいえ わからない はい(反応を記録)
- 2 仕事を行うのが困難であると感じることがありますか。 いいえ わからない はい(反応を記録)
- 3 学校や仕事で成績が下がってきているといったことはありますか。成績の低下によってさらにテストを課されたり、あるいは何か注意を受けたりすることがありましたか。進級に失敗したり、学校を辞めようと考えたりすることはありますか。職場から解雇通告を出されたり、あるいはそうでなくても仕事を続けていくことを困難に感じたりすることはありますか。 いいえ わからない はい(反応を記録)

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

N. 6 解説：社会機能

- a. 以前は難なくこなしていた社会的な役割（仕事や学校、家事など）を遂行するのに困難を感じる。
- b. 仕事や学校で同僚や友人と生産的で互助的な関係を持つことが困難である。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

社会機能

陰性症状スケール

0 なし	1 存在が疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度であるが精神病性ではない	6 重度かつ精神病性
	仕事、学校において普段と同じレベルの遂行能力を維持するためにより多くの労力や集中力を必要とする。	仕事や学校における機能の低下が他の人の目にも明らかとなる。	仕事上の課題を明らかにこなせなくなっていたり、学業平均値の明らかな低下が見られたりする。	1つあるいはそれ以上の科目で落第する。注意を受けたり、仕事上で観察に置かれたりする。	停学や落第になりかけたり、そうでなくても要求を満たすのが著しく困難になったりする。仕事を休みがちで、周囲からも問題視される。他人と働くのは困難になる。	落第や停学、あるいは停職、解雇をされる。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）

- 最近の症状がはじめて生じた日時を記録する：
- 生涯にわたって、あるいは物心ついて以来
 - 明らかでない
 - 出現の日時 _____ (年) _____ (月)

解体症状

D. 1 奇異な行動と外見

質問：

1. 普段どんな活動をするのが好きですか。 (反応を記録)
2. 何か趣味や、特別に関心を持っていることや、コレクションなどがありますか。
いいえ わからない はい (反応を記録)
3. 自分の趣味や関心が一般的でないとか、変わっていると周りから思われていると思いますか。
いいえ わからない はい (反応を記録)

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

注) 評価の基準には、本人が述べる奇妙で普通でない風変わりな行動や外見に加え、客観的に認められる不自然で奇妙な外見も含む。

D. 1 解説：奇異な行動と外見

- a. 行動や外見が奇妙、風変わり独特であり、まとまりを欠き、奇矯である。
- b. 自分の考えに没入し、頭の中で会話をしているかのような様子。
- c. 適切でない感情表現が見られる。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

奇異な行動と外見

解体症状スケール

0	1	2	3	4	5	6
なし	存在が疑われる	軽度	中等度	やや重度	重度	ごく重度
	普通でない外見や行動の存在が疑われる	どちらかといえば普通でない奇異な行為や外見が存在する。	文化的に容認される範囲を超えるような、奇異で普通でない行動や外見、趣味、興味や関心の存在。ある種の不適切な行為がしばしば認められる。	ほとんどいかなる場合でも非常識とみなされるような行為や外見。内界の刺激に捉われて注意が定まらない。どこか浮世離れたところがあり、しばしば周囲に不快感をもたらす。	きわめて常識的でない奇妙な行動や外見。時に明らかに自分の考えに没頭しているように見えることがある。場にそぐわない反応を示したり、不適切な感情を表出したりする。しばしば仲間からも白い目で見られる	著しく奇妙な外見や行動（ゴミを集める、公の面前で独語を発するなど）。発話と実際の感情が全く乖離している。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）	
最近の症状がはじめて生じた日時を記録する：	
<input type="checkbox"/> 生涯にわたって、あるいは物心ついて以来	
<input type="checkbox"/> 明らかでない	
<input type="checkbox"/> 出現の日時 _____（年） _____（月）	

D. 2 奇異な思考

質問：

1. 考えが普通でないとか、考え方が奇妙あるいは論理的でないなどと言われたことが今までにありますか。

いいえ わからない はい（反応を記録）

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

注）評価の基準には、本人が述べる普通でない奇妙な思考に加え、客観的に認められる普通でない奇異な思考も含む。

D. 2 解説：奇異な思考

- a. 偏った、非論理的で明らかに不合理な、奇妙かつ幻想的で、奇異な考えによって特徴付けられる思考。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

奇異な思考

解体症状スケール

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度	6 ごく重度
	まれに「風変わりな」考えが生じるが、容易に振り払うことも出来る。	しばしば普通でない考えや、非論理的な偏った思考が生じる。	普通でない考えや、非論理的な偏った思考が見られるが、それらは下位文化的規範の範囲内にある信念や思想体系の一つとみなされる。	普通でない考えや非論理的な思考が、宗教や哲学において通常慣習的ときとされるラインから逸脱している。	理解するには困難であるような奇妙な考えが見られる。	思考は空想的で、明らかに不合理でまともでもなく、およそ理解不能である。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）
最近の症状がはじめて生じた日時を記録する： <input type="checkbox"/> 生涯にわたって、あるいは物心ついて以来 <input type="checkbox"/> 明らかでない <input type="checkbox"/> 出現の日時 _____（年）_____（月）

D. 3 注意・集中の困難

質問：

1. 目の前の課題に集中したり専念したりすることが難しくなったということはありませんか。それは読むことあるいは聞くことに関してですか。また以前に比べて悪くなっているということはありませんか。

いいえ わからない はい（反応を記録）
2. すぐに気が散ってしまうということはいくつですか。また、物音や他人の話にすぐに気をとられてしまうことがありますか。それは徐々に増えていますか。また、物事を思い出すのに時間がかかることがありますか。

いいえ わからない はい（反応を記録）

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

注：評価の基準には、本人が述べる集中力や注意の困難だけでなく、面接者から客観的に認められる所見も含む。

D. 3 解説：注意・集中の困難

- a. 内的・外的双方の刺激によって注意が拡散し、集中が困難になるなどの、持続的注意の低下。
- b. 新たな刺激に注意を向けたり、それを維持したりするのが困難である。
- c. 会話における記憶保持などの短期記憶に問題が認められる。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

注意・集中の困難

解体症状スケール

0	1	2	3	4	5	6
なし	存在が疑われる	軽度	中等度	やや重度	重度	ごく重度
	ストレスがかかると集中力が低下する。	日々の課題や会話に対する注意がしばしば低下する。	集中や注意の保持に問題があり、話についていくことが困難となる。	しばしば注意散漫となったり、会話の筋道を見失うことがある。	外からのサポートがなければ注意を維持したり、集中力を保ったりすることが出来ない。	外から促しても注意を維持することができない。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）
最近の症状がはじめて生じた日時を記録する： <input type="checkbox"/> 生涯にわたって、あるいは物心ついて以来 <input type="checkbox"/> 明らかでない <input type="checkbox"/> 出現の日時 _____（年）_____（月）

D. 4 衛生観念の低下

質問：

1. 清潔を保ったり、きちんとした服装などに関心が向かなくなることはありますか。 いいえ わからない はい（反応を記録）
2. 入浴はどのくらいの頻度でしますか。 （反応を記録）
3. 最後に新しい服を買って出掛けたのはいつですか。 （反応を記録）

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

D. 4 解説：衛生観念の低下

- a. 身の回りの清潔さや身だしなみに関心がもてなくなる。自分に対して無関心になっている。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

衛生観念の低下

解体症状スケール

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度	6 ごく重度
	清潔の保持に対する関心は低い が、外見に対する関心はまだ残っている。	清潔の保持や外見への関心は低い が、慣習上あるいは文化的に容認される範囲にはある。	服装や社会的な決まり事 のような常識や文化的習慣に関心がない。	衛生面に対する社会的あるいは文化的な基準を無視している。	入浴は不規則となり、服装はだらしく、服も洗濯せず同じものを着ている。ときに体臭が目立つ。	身だしなみには全く気にかけていないように見える。入浴もせず悪臭を放っている。社会的な決まり事に無関心で、周囲から注意を受けても修正されない。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）

最近の症状がはじめて生じた日時を記録する：

生涯にわたって、あるいは物心ついて以来

明らかでない

出現の日時 _____（年） _____（月）

一般症状

G. 1 睡眠困難

質問：

1. 最近はどのくらい睡眠をとっていますか。睡眠に関して何か困っていることはありますか（入眠困難、中途覚醒、1日の睡眠時間の不足、睡眠が浅い、早朝覚醒、昼夜逆転など）。 (反応を記録)
2. 日中、間疲れを感じることはありますか。睡眠不足で日中を乗り切ることができないことはありますか。朝起きるのはつらいですか。 いいえ わからない はい (反応を記録)

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

注：評価の基準には不眠だけでなく過眠も含む。

G. 1 解説：睡眠困難

- a. 入眠困難
- b. 早朝覚醒と再入眠困難
- c. 日中の易疲労感と眠気
- d. 昼夜逆転
- e. 過度の睡眠

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

睡眠障害

一般症状スケール

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度	6 ごく重度
	不安定な睡眠。	入眠あるいは再入眠にやや困難を認める。	入眠困難と早朝覚醒のせいで日中易疲労感が残る。平均的なレベルよりも睡眠時間が長い。	睡眠のパターンはほぼ崩壊し、他の社会的機能にまで影響を及ぼす（例えば学校や仕事に遅れるようになるなど）。約束の時間に起きるのが難しくなる。昼寝に多くの時間を割くようになる。	ほとんど毎日入眠困難か早朝覚醒を認める。昼夜逆転も見られる。決められた時間に起きて出かけることはほぼ全くなできない。	48時間以上に渡り睡眠がとれていない。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）

最近の症状がはじめて生じた日時を記録する：

生涯にわたって、あるいは物心ついて以来
明らかでない
出現の日時 _____ (年) _____ (月)

G. 2 気分不快

質問：

1. 最近の気分はどういったものですか。 (反応を記録)
2. 今までに自分が不幸せだと感じるようなことはありましたか。 いいえ わからない はい (反応を記録)
3. 今までに抑うつ的なことがありますが。気がつくとき涙を流しているといったようなことはありますか。悲しみや絶望を感じたり、嫌な気分になったり自分を無価値と考えたりしますか。気分によって食欲が影響されることはありますか。睡眠や仕事の能力についてはどうですか。 いいえ わからない はい (反応を記録)
4. 自分自身を傷つけたり、自分の人生を終わりにしてしまおうといった考えが浮かんでくることはありますか。今までに自殺を試みたことがありますか。 いいえ わからない はい (反応を記録)
5. 他の誰かを傷つけようという考えが生じたことはありますか。 いいえ わからない はい (反応を記録)
6. 気がつくとき長い時間いららし続けているようなことはありますか。しばしば怒りを感じるようなことはありますか。他の誰かや何かを攻撃するといったことはありますか。 いいえ わからない はい (反応を記録)
7. 最近いつもより神経質になったり不安になったりしましたか。リラックスできないというようなことはありますか。 いいえ わからない はい (反応を記録)

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

G. 2 解説：気分障害

以下も：

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> a. 娯楽的活動に対する興味の減退 b. 睡眠の障害 c. 食欲の低下あるいは亢進 d. 気力低下の自覚 e. 集中力の減退 f. 希死念慮 g. 無価値な感覚や罪悪感 | <ul style="list-style-type: none"> a. 不安、パニック、種々の恐怖 b. いらいら感、嫌悪感、怒り c. 落ち着きのなさ、焦燥感、緊張 d. 不安定な感情 |
|--|---|

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

気分不快

一般症状スケール

0 なし	1 存在が 疑われる	2 軽度	3 中等度	4 やや重度	5 重度	6 ごく重度
	気分の落ち込みや苛々感を自覚しやすい。	抑うつや苛々、不安の混ざり合った、不快で陰鬱な悲しい気分が、しばしば思いがけず不定期に襲ってくる。	「ふさぎこむ」感じや、種々の不安、不機嫌などが「居座る」状態。	悲哀感やいらいら感、抑うつ気分が繰り返される。	抑うつや苛々、不安の混ざり合った不快な気分が持続している。物質乱用や眠り続けるなどの回避的行動が出現する。	抑うつや苛々、不安の混ざり合った不快な気分を強く感じ、時に自傷や自殺といった破滅的行動に至る。

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）

最近の症状がはじめて生じた日時を記録する：

生涯にわたって、あるいは物心ついて以来

明らかでない

出現の日時 _____（年） _____（月）

G. 3 運動障害：

質問：

1. 動きがぎこちなく、協調を欠いてしまうように感じることはありますか。

いいえ わからない はい(反応を記録)

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

G. 3 解説：運動障害

- a. 自覚される、あるいは観察されるぎこちなさや協調運動の低下によって、かつて問題なく遂行された行動が遂行困難となること
- b. 神経質な習慣的行動や、型にはまった特徴的な行動、姿勢、あるいは他の人の動きを真似る（反響動作）などの新たな動きの出現
- c. 動作の停止（カタトニー）
- d. 自動的な運動の欠如
- e. 何かにとりつかれたような儀式的運動
- f. 頭、顔、四肢のジスキネジア様の運動

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。

運動障害

一般症状スケール

0	1	2	3	4	5	6
なし	存在が疑われる	軽度	中等度	やや重度	重度	ごく重度

動きに不器用さが見られる。	動作にぎこちなさが自覚、あるいは観察される。	協調運動に欠ける。細かい運動に困難を伴う。	動きは型にはまったようで、しばしば不適切である。	神経質な習慣的動作や、チック、顔をしかめるなどの動き、何かに取り付かれたような儀式的運動が出現する。	自然な運動の欠如。動作停止、他人を真似た動き、ジスキネジアなどが出現する。
---------------	------------------------	-----------------------	--------------------------	--	---------------------------------------

評価の根拠：

症状の発現（レベル3以上の症状に対して）
最近の症状がはじめて生じた日時を記録する： <input type="checkbox"/> 生涯にわたって、あるいは物心ついて以来 <input type="checkbox"/> 明らかでない <input type="checkbox"/> 出現の日時 _____（年）_____（月）

G. 4 ストレス耐性の低下

質問：

1. 普段と変わらない1日の終わりに、他の人より疲れやストレスを感じることはありますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）
2. 日中たまたま予期せぬことが起きたときに、それに振り回されてしまうことはありますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）
3. 日常的な物事にも、挑むような気持ちが必要であったり、それのみ込まれてしまったりすることがありますか。
 日常的な活動を避けてしまっていますか？ いいえ わからない はい（反応を記録）
3. ストレスを強く感じて、頭が回らなくなり、普段の日常生活をこなす気力やモチベーションも失われてしまったように感じますか。
いいえ わからない はい（反応を記録）

すべての反応に対し以下を記録する：その内容、出現時期、持続期間、これまでに見られた変化

G. 4 解説：ストレス耐性の低下

- a. 以前は難なく対処できていたストレスのかかる状況に対して、回避したりあるいは消耗を余儀なくされたりする。
- b. 日常的なストレス要因に対する、明らかな不安症状あるいは回避的行動。
- c. かつては難なく処理できた経験に徐々に動揺させられ、それに慣れるのが難しくなる。

各スケールにおけるアンカーポイントは、観察されるあらゆる症候に対して、その徴候の具体例や評価のためのガイドラインを提供するものである。ある特定のポイントを付与する際に、1つの枠内の全ての基準を満たす必要はない。評価の基準には本人の発言だけでなく、面接者による観察記録も含まれる。